

平成 16 年 5 月 13 日

電磁気学演習 No.4 (静電ポテンシャル, クーロンの法則)

問 1* x 軸上のある点 $r_1 = (a, 0, 0)$ に点電荷 $q (> 0)$ が, また $r_2 = (-a, 0, 0)$ に点電荷 $-q$ がある。以下の問いに答えよ。

- (a) z 軸上の電場 E をクーロンの法則より求めよ。
- (b) x 軸を含む平面における電気力線の大まかな形状を図示せよ。
- (c) 任意の点 (x, y, z) の電位 Φ を求めよ。
- (d) $E = -\nabla\Phi$ より z 軸上の電場 E を再び求めよ。

問 2* (円環状電荷) z 軸を中心軸とし, x - y 平面上にある半径 a の円周上に線電荷密度 λ の電荷が一様に分布している。このとき, 以下の問いに答えよ。

- (a) z 軸上における電場の z 成分 $E_z(z)$ をクーロンの法則から求め, z の関数として図示せよ。
- (b) z 軸上における静電ポテンシャル $\Phi(z)$ を求め, z の関数として図示せよ。
- (c) $E = -\nabla\Phi$ より, z 軸上における電場の z 成分 $E_z(z)$ を求め, (a) の結果と一致することを示せ。
- (d) z 軸上で電場の大きさが最大となる点を求め, その点における電場の大きさを求めよ。

問 3 (円盤状電荷) z 軸を中心軸とし, x - y 平面上にある半径 R の円盤上に面密度 σ で電荷が一様に分布している。このとき以下の問いに答えよ。

- (a)* z 軸上における電場の z 成分 $E_z(z)$ をクーロンの法則から求めよ。
- (b)* z 軸上における静電ポテンシャル $\Phi(z)$ を求めよ。
- (c)* $E = -\nabla\Phi$ より, z 軸上における電場の z 成分 $E_z(z)$ を求め, (a) の結果と一致することを示せ。
- (d)* z 軸上における電場の z 成分 E_z を z の関数として図示せよ。さらに, z 軸上で電場の大きさが最大となる点を求め, その点における電場の大きさを求めよ。
- (e)** $R \rightarrow \infty$ とすると, 円盤は無限に広い平面となる。このときの電場の z 成分 $E_z(z)$ を求め, z の関数として図示せよ。

問 4* (球殻状電荷) 原点をその中心とする半径 R の球殻がある。この球殻上に面密度 σ の一様な電荷が分布しているとする。極座標 (r, θ, ϕ) を用いて以下の問いに答えよ。

- (a) z 軸上の点 $(r, 0, 0)$ での静電ポテンシャル $\Phi(r)$ を求め, r の関数として図示せよ。
- (b) $E = -\nabla\Phi$ より, 電場の r 成分 $E_r(r)$ を求めよ。

問 5** (線分状電荷) 一様な線密度 λ の電荷が z 軸上の $-a < z < a$ の範囲の線分上に分布している。以下の問いに答えよ。

(a) 円柱座標上の点 (r, ϕ, z) における電場 \mathbf{E} が

$$E_r = \frac{\lambda}{4\pi\epsilon_0 r}(\sin\alpha - \sin\beta)$$

$$E_\phi = 0$$

$$E_z = \frac{\lambda}{4\pi\epsilon_0 r}(\cos\beta - \cos\alpha)$$

となることをクーロンの法則から求めよ。ただし、

$$\cos\alpha = \frac{r}{\sqrt{r^2 + (z+a)^2}}, \quad \cos\beta = \frac{r}{\sqrt{r^2 + (z-a)^2}},$$

$$\sin\alpha = \frac{z+a}{\sqrt{r^2 + (z+a)^2}}, \quad \sin\beta = \frac{z-a}{\sqrt{r^2 + (z-a)^2}}$$

である。

(b) 静電ポテンシャルを求め、 $\mathbf{E} = -\nabla\Phi$ が (a) の結果と一致することを示せ。

(c) $a \rightarrow \infty$ とするとき、電荷は無限に長い直線上に分布する。このとき作られる電場 \mathbf{E} を求めよ。